



会津富士通  
セミコンダクター  
グループ  
環境報告書2016



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

■ 目次

■ トップメッセージ	2
■ 事業と環境経営	3
■ 環境方針	4
■ 2015年度環境重点活動項目	5
■ 2015年度環境活動計画と結果	7
■ 環境コミュニケーション	9

---

■ 会津富士通セミコンダクターグループ環境報告書2016は、富士通グループの半導体事業を担う会津富士通セミコンダクターグループの環境的側面に関する考え方・取り組み内容・成果などを報告するものです

■ 報告期間は、2015年度（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の活動内容を記載しています。ただし、一部には2015年4月1日以前、2016年4月1日以降の活動内容などが含まれています。

■ 報告対象組織は、会津富士通セミコンダクターグループ国内拠点のみを対象としています。

### 高品質と安定した製造能力を提供する。これが私たちの基本です。



会津富士通セミコンダクター株式会社  
代表取締役社長

清水 敦男

会津富士通セミコンダクターグループは、今年1月4日に会津富士通セミコンダクタープローブ株式会社を新たに加えて、4社体制のファウンドリ会社として事業を展開しています。

私たちは、お客様との約束を守る誠実さ、たゆみない自己変革、相互の信頼を大切な価値観として、お客様にとってNo.1のパートナーであることを目標としています。

私たちの工場は、磐梯山や猪苗代湖など恵まれた自然の中に立地し、会津若松の地域をはじめとする多くの方々から暖かいご支援を受けてまいりました。

今後も、環境に配慮しながら地域との調和を図り、共に発展していくことを目指します。

### 環境にやさしいウェハーファウンドリー会社を目指します。



会津富士通セミコンダクター  
マニュファクチャリング株式会社  
代表取締役社長（環境担当役員）

堀 仁

2015年度は、富士通グループ第7期環境行動計画の最終年度でした。この行動計画をベースに、私たちは事業活動を通じ様々な環境活動を進めてきた結果、すべての目標を達成することができました。2016年度からは新たな環境行動計画がスタートします。

この行動計画に基づき私たちはこれからも化学物質や廃棄物の削減、そして温室効果ガス（エネルギー消費CO<sub>2</sub>、PFC）は、総量だけでなく原単位（1枚のウェハーを製造、試験するためのエネルギーや材料）の改善にも着目し高い競争力のある「グリーンファクトリー」を実現することを目指していきます。

## 会津富士通セミコンダクターグループ概要

会津富士通セミコンダクターグループは、事業活動での環境負荷低減に取り組み、低炭素で豊かな未来を実現する環境経営を推進します。

- 本社 会津富士通セミコンダクター株式会社
- 所在地 福島県会津若松市門田町工業団地4番
- 代表者 代表取締役社長 清水 敦男
- 設立 2014年12月1日
- 事業内容 ウェハーファウンドリサービス、  
ウェハー試験サービスにかかる事業



## ISO14001認証

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通グループの一員として環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格である ISO14001 の認証を取得しています。

詳しい内容は 富士通セミコンダクターグループサイトをご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fsl/about/environment/>

審査機関 JACO/DNV

明示登録証番号 EC98J2005

登録日 1995年9月12日

更新日 2015年3月23日

期限 2018年3月22日

### ISO14001認証取得状況

会津富士通セミコンダクターグループ	認証範囲
会津富士通セミコンダクター株式会社 (AFSL) 会津若松市門田町工業団地4番地	製造 (統括)
会津富士通セミコンダクターウェハーソリューション株式会社 (AFSW) 会津若松市門田町工業団地3番地	製造
会津富士通セミコンダクターマニュファクチャリング株式会社 (AFSM) 会津若松市門田町工業団地6番地	製造
会津富士通セミコンダクタープローブ株式会社 (AFSP) 会津若松市門田町工業団地4番地	試験

# 環境方針

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通セミコンダクターグループ環境方針のもと、環境マネジメントを推進しています。

## 富士通セミコンダクターグループ環境方針

私たちは、先進の技術で環境性能に優れた半導体デバイスを提供し、お客様とともに豊かな地球環境の保護に貢献します。

### ■ 行動指針

私たちは、以下の指針により開発／調達／生産／販売／使用／廃棄にいたるすべてのライフサイクルで、環境負荷の低減と地球環境汚染の予防に努めます。

1. 環境性能に優れた製品開発を推進します
2. 製品や梱包材等における含有化学物質の適正管理を推進します
3. 地球温暖化対策、水や資源の有効利用対策及び廃棄物の適正管理を推進します
4. 地球環境汚染の予防のため、化学物質の適正管理を推進します
5. グローバルな視点で環境関連法規制およびお客様とのお約束を順守します
6. 環境社会貢献活動や生物多様性保全を推進します
7. 環境マネジメントシステムを有効かつ継続的に改善し、環境パフォーマンス向上に努めます

## 会津富士通セミコンダクターグループ重点項目

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通セミコンダクターグループ環境方針に沿って以下の重点項目に取り組みます。

- 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>、PFC〔パーフルオロ化合物\*1〕)の排出量削減
- 化学物質(PRTR\*2、VOC\*3)の管理強化
- 廃棄物の発生量削減と再資源化推進
- 水資源の有効利用推進

### ■ 環境マネジメント活動

富士通グループ「Green Policy 21」「Green Policy 2020」「環境行動計画」に基づき達成すべき数値目標を明確にした「会津富士通セミコンダクターグループ環境目的・目標」を策定し、計画的かつ継続的改善のもと、環境マネジメント活動を推進しています。

### ■ 環境法令の順守

2015年度の会津富士通セミコンダクターグループにおける法令違反はありません。2015年度に法令アセスメントのルールを策定し、法令違反を発生させない仕組みを強化しています。

### ■ 環境監査

毎年内部環境監査を実施すると同時に、有効な監査を行うために、内部環境監査員の力量向上を図る教育を実施するなど、環境監査の強化に努めています。JACO(株式会社日本環境認証機構)による外部審査を受査しISO14001の認証取得を継続しています。

\*1 PFC : Perfluoro Compound

\*2 PRTR : Pollutant Release and Transfer Register〔化学物質排出移動量届出対象物質〕

\*3 VOC : Volatile Organic Compound〔揮発性有機化合物〕

## 2015年度環境重点活動項目

### 環境教育・環境リスクの低減

#### ■ 環境教育

富士通グループでは、3年ごとに策定する環境行動計画の内容を社員へ浸透させていくために、1995年から全グループ会社社員を対象とした環境教育を実施しています。これに加えて、会津富士通セミコンダクターグループでは、独自に毎年、全グループ社員を対象とした環境教育を実施し、全社員が受講を修了しております。また、環境業務を担当する社員に対しては、専門教育として、内部監査員教育や廃棄物実務担当者教育なども実施し、社員一人ひとりの環境意識の向上に努めています。

地球温暖化  
廃棄物  
水資源有効利用  
生物多様性など



#### ■ 環境リスクの低減

##### (1) 建屋の屋根塗装

工場屋根材の老朽化による亜鉛溶出対策と遮熱効果による省エネを目的に、2015年度より建屋全体の屋根塗装を開始しました。

下記写真は原動棟の屋根塗装の状況です。



<屋根塗装前>

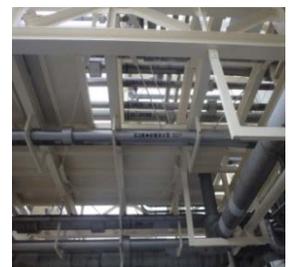
<屋根塗装後>

##### (2) 屋外配管の環境リスク対策

配管破損による土壌汚染等のリスク対策として屋外配管の鋼体化（樹脂から金属）とラッキングを計画的に実施しています。



<屋外配管更新①>



<屋外配管更新②>

#### ■ 安心・安全な工場への取組み

環境リスク発生の未然防止を目的として、各環境法および条例に準拠した放流水や地下水等の環境分析を定期的に行っています。また、安全な職場環境の維持・向上のため安全衛生巡回、全職場におけるリスクアセスメントの実施やパートナー社様との安全大会も開催しています。



<環境測定：雨水ゲートの水質>



<安全大会>

## 2015年度環境重点活動項目

### 環境活動の目標と実績

会津富士通セミコンダクターグループでは、ウェハーファウンドリ事業活動に伴うエネルギー・化学物質を含む資源の消費抑制に継続して取り組み、低炭素で豊かな未来を実現するため、お客様や社会の環境負荷低減に取り組んでいます。

#### ■ 2015年度活動結果

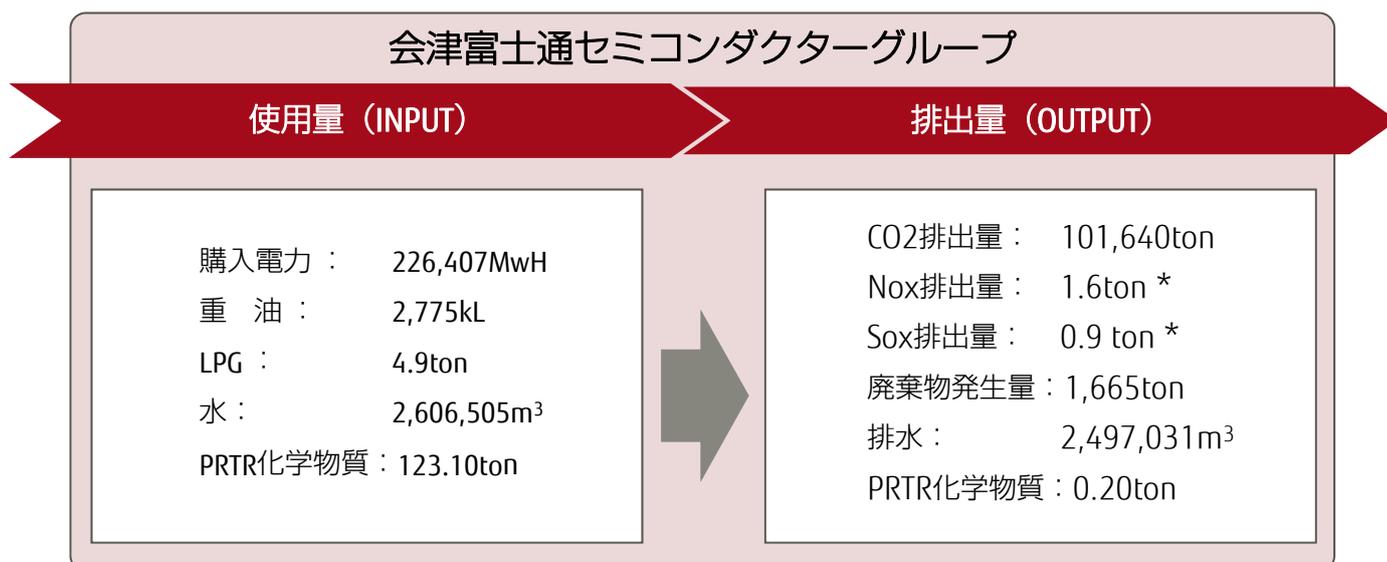
温室効果ガス（GHG\*）の排出量の削減、化学物質及び廃棄物発生量の抑制、水資源の有効活用など環境行動計画に基づく活動目標を全て達成いたしました。

\*GHG：Green House Gas CO<sub>2</sub>だけでなく70種類も対象になります。

○ 目標達成

大項目	項目		2015年度目標	2015年度結果
自らの事業活動	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	①	エネルギー消費CO <sub>2</sub> 排出量を112,386t-CO <sub>2</sub> 以下にする	○ 101,640t-CO <sub>2</sub>
		②	PFC排出量を75,708t-GWP以下にする	○ 74,812t-GWP
	水資源の有効利用	③	水資源有効利用施策を1件以上実施する	○ 1件
	化学物質排出量の抑制	④	VOC排出量を6,519Kg以下にする	○ 1,855Kg
	廃棄物排出量の抑制	⑤	廃棄物排出量を2,025t以下にする	○ 1,665トン

### 2015年度環境負荷データ



\* Nox, Sox の排出については、ボイラーからの燃焼排気ガスです。

Nox：Nitrogen oxide 窒素酸化物

Sox：Sulfur oxide 硫黄酸化物

## 地球温暖化対策

### ■ エネルギー消費CO2排出量削減

- 工場での省エネ施策

2011年3月の東日本大震災以降、夏季の節電強化を目的に省エネ点検、省エネパトロールを実施し、現場のムダ取りや省エネ施策の洗い出しを行なうと共に、従業員に対し省エネ啓発活動も実施しています。

また、モーターへのインバータ設置や一般エリアに加えてクリーンルームエリアへのLED照明の導入を進めるなどエネルギーの削減に積極的に取り組んでいます。

2016年度富士通グループ環境貢献賞を受賞

- LED照明クリーンルーム内



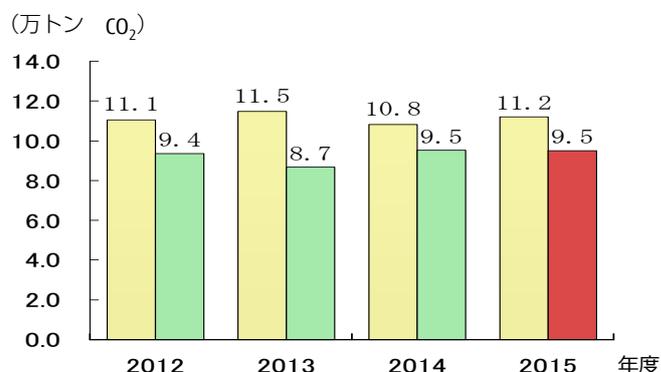
〔白色〕



〔IIO-〕

- エネルギー消費CO2排出量

■: 目標 ■: 実績 (2012~2014 年度) ■: 実績 (2015年度)



### ■ PFC排出量削減 (CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス)

製造工程のクリーニングガス等で使用する、温暖化係数の大きいPFCガスの排出量削減に取り組んでいます。

2015年度は操業アップのため、排出量は増加しましたが、PFC除害装置を順次導入し排出量を抑える取組みを継続しています。

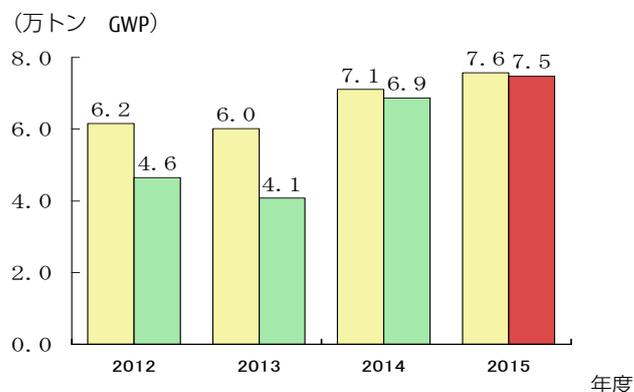
- PFC除害装置



〔除害装置〕

- PFC排出量削減

■: 目標 ■: 実績 (2012~2014 年度) ■: 実績 (2015年度)



## 水資源有効活用および化学物質排出量・廃棄物発生量の抑制

### ■ 水資源の有効利用

- 水使用量の最適化

製2013年度から2014年度に掛けて製造工程の純水の流量最適化等により年間で約21万m<sup>3</sup>の水使用量を削減しました。2015年度も社員食堂の食器洗浄機の洗浄水最適化等による節水に取り組みました。

2016年度以降も節水活動に取り組んでいきます。

- 水使用量

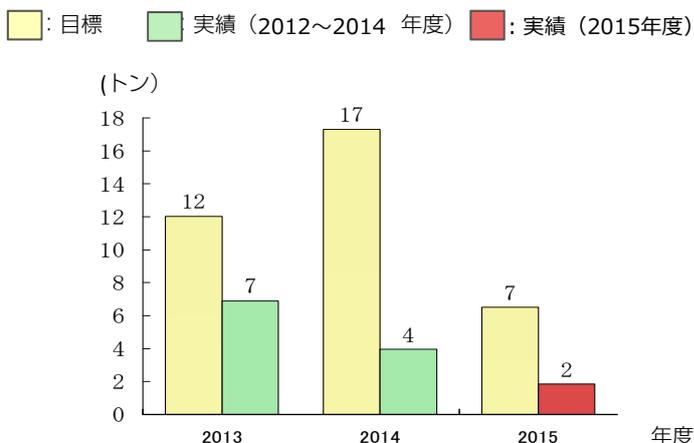


### ■ 化学物質排出量の抑制 (管理)

- 排出量削減活動

2013年度から排ガスに含まれるVOC排出削減に取り組んでいます。またVOCは有機排ガス処理設備にて適切に除去しています。

- VOC排出量



### ■ 廃棄物発生量の抑制

- 廃アルカリの有償化

2015年度は、濃縮廃アルカリの有償化を行い産業廃棄物の発生量を約41ton削減しました。今後も3R (リデュース、リユース、リサイクル) を積極的に進め、継続的な廃棄物削減活動に取り組んでいきます。

- 廃棄物発生量



# 環境コミュニケーション

## 社会貢献活動

事業所周辺の清掃活動や身近な自然環境を守るための緑化活動など、地域に密着した取り組みを実施しています。これからも地域社会とのかかわりを大切にしながら、さまざまな活動に取り組んでいきます。

- 工場周辺清掃活動(5月)



- ラベンダー花摘み (7月 他事業所からも参加)



- 花園コンクール(8月)



- クリーンふくしま (9月 JR西若松駅周辺)



- 会津若松市環境フェスタ(9月)



～工場敷地内で育ったカルガモ～



## 会津富士通セミコンダクター株式会社

発行：2016年11月

発行責任者：代表取締役社長 清水 敦男

編集責任者：EHS推進部 的場 亨

発行部門：会津富士通セミコンダクター株式会社 総務部

参考にしたガイドライン：環境省「環境報告ガイドライン2007年版・2012年版

報告URL：<http://www.fujitsu.com/jp/group/afsl/about/environment/>

